

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年8月3日

上場取引所 大

上場会社名 データリンクス株式会社

コード番号 2145 URL <http://www.datalinks.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 村井 一之

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 秋山 孝司

TEL 03-5962-7621

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,042	0.1	58	△1.3	59	△1.3	32	1.3
23年3月期第1四半期	2,041	△4.6	59	△13.2	60	△14.0	32	△17.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	1,518.23	—
23年3月期第1四半期	1,499.20	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	3,427	2,332	68.1
23年3月期	3,313	2,332	70.4

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 2,332百万円 23年3月期 2,332百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	1,540.00	1,540.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	1,940.00	1,940.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,947	△4.4	88	△6.3	89	△6.4	48	△7.1	2,224.09
通期	8,160	0.1	250	6.9	252	6.8	139	20.0	6,455.63

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	21,590 株	23年3月期	21,590 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	— 株	23年3月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	21,590 株	23年3月期1Q	21,590 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 追加情報	8
(6) セグメント情報等	8
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
5. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間(平成23年4月1日～平成23年6月30日)におけるわが国経済は、東日本大震災の復旧・復興に向けた財政支援が講じられる中、生産活動の低下や輸出の減少、株価の低迷や設備投資の抑制等先行き不透明な状況は拭えず、雇用・所得環境についても引き続き厳しい状況で推移しております。

当社の事業環境につきましても、情報サービス分野におきましては企業のIT関連投資に対する慎重な姿勢はより強まること懸念されるとともに、人材派遣を中心とした人材ビジネス分野におきましては改正労働者派遣法案を見越した労働者派遣・職業紹介事業に関する業務取扱いへの是正指導が高まっていることから、派遣先における請負形態への切替や直接雇用による派遣事業の縮小傾向が一層強まること予想されます。

このような状況の下、当期より、システムソリューションサービス事業において、①S Iビジネスの拡大、②プライム比率の向上、③新規ビジネスモデルの創出、④組織マネジメント力の強化を重点課題に掲げ、当第1四半期累計期間については、小規模案件等についても将来の拡大を見据え、取りこぼしのないよう、お客様ニーズの把握に努め、新規顧客の開拓や既存顧客に対するフォローを積極的に推進しました。また、本年5月において、ネットワーク構築等に関するハード設置やLAN工事等への業容拡大に向け、東京都より電気通信工事業における「一般建設業」の許可を取得、さらには、当社が開発支援を行ってきた株式会社NTTデータが著作権を有する税務申告ソフト「達人シリーズ」・「達人Cube」(注)の販売代理店契約を締結しました。

一方、BPOサービス事業においては、①アウトソーシング業務の拡大、②粗利益率の向上、③新規ビジネスモデルの創出を重点課題に掲げ、当第1四半期累計期間については、流通関連のアウトソーシング業務に対する受注及び生産体制の強化ならびに、不採算案件の見直しや入札案件への積極的参加をはかるとともに、新たなビジネス展開に向けた企画・提案型の営業を積極的に推進しました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は2,042百万円(前年同四半期比0.1%増)、営業利益58百万円(同1.3%減)、経常利益59百万円(同1.3%減)、四半期純利益は32百万円(同1.3%増)となりました。

※(注)「達人シリーズ」・「達人Cube」とは

NTTデータの税務業務支援ソフトとして開発され、多彩なラインナップで税務業務をサポートする「達人シリーズ」は、8タイトルの「申告書作成ソフト」とオンライン税務サービス「達人Cube」から構成されています。「申告書作成ソフト」は、8タイトル3グレードの製品の中からお客様の用途に合わせて選択出来、多くの「会計・給与ソフト」と連動し、帳票そのままの申告書作成画面で豊富な帳票を作成できる機能性を兼ね揃え、さらに、圧倒的なコストパフォーマンスで税務のプロである“税理士・会計士”業界から企業の経理担当者まで税務に関わる多くのお客様に採用されています。

セグメント別の売上高及びセグメント利益(営業利益)の推移は次のとおりであります。

(百万円未満は切り捨て)

セグメント名	23年3月期 第1四半期累計期間		24年3月期 第1四半期累計期間		対前年同期増減率	
	売上高 (百万円)	セグメント 利益 (百万円)	売上高 (百万円)	セグメント 利益 (百万円)	売上高 (%)	セグメント 利益 (%)
システムソリューションサービス	855	99	860	104	0.6	4.4
BPOサービス	1,186	62	1,182	69	△0.4	12.3
合計	2,041	162	2,042	174	0.1	7.4

